

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	事業系ごみ多量排出事業者に対する減量化指示事業		
事業担当	環境部 循環型社会推進課		
事業種類	ハード ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	循環型社会 循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'02	2 ごみの排出を抑制し、資源化を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	事業者	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
事業系ごみの発生量が減少し、資源化量が増えています。		ごみ減量化のため、事業系一般廃棄物多量排出事業者に対し、減量化及び資源化等を図るように指示します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	減量化等計画書提出率(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	減量化等計画書提出数 / 多量排出事業者数 × 100				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			100	100	
	実績			100		
活動指標	指標名	事業所への立入調査数(平成26年度から)			単位	件
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			15	15	
	実績			15		
成果指標	指標名	多量排出事業者排出量削減率			単位	%
	説明・算定式	前年度実績と比較した削減率				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	2	2	2	2	
	実績	-23	9	1		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況		: 予定どおり				
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
多量排出事業者「減量化等計画書」等の提出を求め、実績及び計画書の確認等を行いました。平成25年度にごみの排出量が多かった排出者については、「減量化等計画書」の提出や対話等により、ごみの発生抑制や資源化に対する意識付けに効果がありました。						
平成26年度の検証結果	C : 十分に成果をあげることができなかった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、ごみの発生抑制、資源化に必要です。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	継続的に多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、ごみの発生抑制、資源化に有効です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	多量排出者に対し、指導し、計画を策定させて減量化に努めさせることは、事業の目的であるごみの発生抑制、資源化に対して妥当です。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	多量排出者に対し、「減量化等計画書」等の確実な提出を求めています。	高中低
今後に向けた課題の分析 「減量化等計画書」に基づいて、事業者と現場確認を行い、発生抑制、資源化等でごみ減量の可能性を検討していくことが必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指導	多量排出者に対する指示	多量排出事業者に対する指示
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0
執行率 (%)		-	-	-	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 前年度の比較等を行い、多量排出者が抱えている問題の解決に向けて検討をしていきます。また、排出現場への立入を実施し、発生抑制、資源化等についての指導、助言を行います。
課長コメント 事業系ごみの減量促進に取り組みます。